



十小だより

令和 7 年 2 月 2 8 日

第 1 1 号

府中市立府中第十小学校

1 年間を振り返って

校長 草刈 あずさ

学校の梅の花が咲く季節となりました。6 年生はいよいよ小学校生活を終えようとしています。

さて、1 2 月に行った後期の学校評価の結果から以下のとおり報告いたします。アンケートへのご協力いただき、ありがとうございました。改善を図ってまいりましたが、まとめの月として一層、努めてまいります。

(①肯定的回答 ②やや肯定的回答 ③やや否定的・否定的回答) (数値は割合)

1 学習について

対象	項目	①	②	③
保護者	お子さんは、学校の学習に進んで取り組もうとしていますか。	25.7	61.0	13.3
子ども	授業では、自分で考えたり調べたりしていますか。	42.0	45.7	12.3
教員	毎時間、10 分以上の個人解決や協働的な学びの時間等を徹底していますか。	61.3	38.7	0

目まぐるしく変化する時代に、意欲や課題意識をもって自分で学ぶ力が求められています。十小では、子どもたちが自分で考える力を伸ばすことに取り組んできました。特に、「個別最適な学び」「協働的な学び」として、一人や友達と課題に取り組むことで、調べたり、まとめたりする力がついたことを実感している子どもたちが多くいます。

対象	項目	先生から説明	友達と相談しながら	自分で調べ考える
子ども (4 年以上)	あなたは、どのような学習の方法が好きですか。	15.1	62.0	22.8

2 自己肯定感について

対象	項目	①	②	③
保護者	お子さんは、自分で自分の良さを分かっていると思いますか。	17.4	52.8	29.8
子ども	自分の良いところが分かりますか。	31.8	34.0	34.3
教員	児童の良いところを見付け、褒めたり価値付けたりしていますか。	45.2	48.4	6.5

3 人に一人の子どもが、自分のよいところに気付いていないことと、同様の割合で保護者の方もそう認識しています。一人一人の子どもたちが、今のままの自分でも十分によいところがあることや、周りにも認められていることに気付けるよう、周りの大人の声かけが重要です。教員も一層意識して、子どものよさを価値づけていきます。特に、特別活動を充実させていますので、人と協働したり、人に認められたり、人の役に立ったりする経験を積ませていけるようにします。

3 相談・信頼関係について

対象	項目	①	②	③
保護者	学校は、保護者と連携をとって、お子さんの成長を育もうとしていますか。	50.5	44.5	5.1
子ども	困ったことがあったら、先生やおうちの人など周りの大人に話すことができますか。	42.0	33.0	25.0
教員	保護者や地域に情報を発信したり連絡を取り合ったりして、信頼関係を築くことができますか。	32.1	53.6	14.3
教員	児童が相談しやすい関係を築いたり、見て見ぬふりをしない学級や集団づくりをしたりする等、いじめ防止の指導ができていますか。	46.7	53.3	0

定期的に子どもの心の健康観察やふれあいアンケートなどを行ったり、欠席日数が多い子どもの面談を行ったりしていますが、4 人に一人の子どもが、周りの大人に相談できていないと感じています。一層、相談しやすい雰囲気づくりに努めます。